
【上海レポート20220404】

大阪産業局上海代表処/大阪府上海事務所 所長 南浦秀史

【初めての市全域封鎖】

日本でも報道されているとおり、上海市全域封鎖が始まりました。新型コロナウイルス感染が発見されて以来、上海では初めてのことです。常住人口約2500万人、中国を代表する国際都市であり大都会の上海が封鎖されるとあって、国内外で注目されています。

上海市は黄浦江という河を挟んで、浦東と浦西に分かれています。浦東は改革開放以来のニュータウンで、浦西は市庁舎や虹橋空港などがある古くから栄えている地域です。今回の封鎖は、3月28日から4月5日まで、浦東と浦西を4日ずつに分けて封鎖するというものです。

中国の行政単位は、粗っぽくいうと、市→区→街道→小区といった単位になります。街道は、日本でいう市の中にある〇〇町、小区は〇丁目といった感じです。私の小区はマンション群で構成され、240戸の小さな規模の小区です。

3月中旬から感染拡大の兆しがあり、感染者が出た小区は14日間の封鎖、濃厚接触者が出た小区は、まず48時間封鎖をして検査をしていました。3月15日に上海市政府発表文書において不要不急の外出自粛や在宅勤務要請がありました。私の事務所も住まいも浦西にあり、感染者が少ない地域なので、これまで小区の封鎖は経験していません。西側は4月1日から封鎖されましたので、それまでは出勤することも買物に行くこともできていました。さすがに、封鎖前のスーパーは棚から生鮮食品や冷凍食品がなくなったりしましたが、食べ物がなくなることはなく、住民もパニックにならず淡々と封鎖に備えていた感じです。封鎖後は居室から出ることもできませんが、小区単位でPCR検査や抗原検査が実施されており、その結果次第で制限が緩和されるようです。いまは、公共交通機関もすべて止まり、本当に必要な住民サービス従事者以外は外出できませんので、街はとても静かで、一日中、鳥のさえずりが聞こえ、どこの田舎にいるのか、と錯覚するほどです。

封鎖下の上海の状況について、引き続き、報告していきます。

過去の「上海レポート」、「中国(上海)ビジネスサポート」

https://www.obda.or.jp/jigyo/ibo/overseas_shanghai.html

発行・問合せ：(公財)大阪産業局上海代表処(大阪府上海事務所)

URL: <http://osaka-sh.com.cn/> E-mail: osaka@ibo-sh.com